



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ハルメクホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7119 URL <http://halmek-holdings.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）宮澤 孝夫
 問合せ先責任者（役職名）取締役CFO（氏名）石井 文範（TEL）03(6272)8222
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	27,464	△0.5	2,022	61.1	1,988	62.8	1,300	54.3	1,300	54.3	1,300	54.3
2025年3月期第3四半期	27,603	8.8	1,255	△27.5	1,221	△22.1	843	△18.9	843	△18.9	843	△18.9
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2026年3月期第3四半期	118.13		116.58									
2025年3月期第3四半期	77.23		76.09									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	22,876	9,130	9,130	39.9
2025年3月期	20,893	8,195	8,195	39.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	15.00	—		
2026年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	3.2	1,500	40.4	1,450	42.1	900	44.3	900	44.3	81.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	11,033,238株	2025年3月期	10,999,570株
2026年3月期3Q	47株	2025年3月期	47株
2026年3月期3Q	11,011,086株	2025年3月期3Q	10,916,951株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）におけるわが国経済は、企業業績の改善が進み、雇用や所得環境において改善が見られる反面、円安やエネルギー価格高騰などに起因する物価上昇が継続していることから、個人消費は緩やかな改善に留まっております。また、インバウンド需要は活性化しておりますが、不安定な海外情勢の長期化や中国経済の減速及び来日中国人数の減少、米国の関税政策や外交政策の転換などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては収益性の改善を重視した取り組みを行い、当第3四半期連結会計期間（2025年10月1日から2025年12月31日まで）においては、売上収益、営業利益、税引前四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益のすべてにおいて過去最高を更新しました。ただし、例年、第4四半期会計期間は赤字であり、当期も赤字を予想していることから、業績予想は据え置いております。

主要事業の内訳としましては、雑誌「ハルメク」が国内全雑誌における販売部数でNo.1（※）を維持し、読者数は2025年7月から2025年12月までの半年平均で45万人（前年同期：46万人）となっております。（※出所：一般社団法人日本ABC協会「発行者レポート」（2025年上期実績））

物販におきましても、健康志向に対応した健康サポートインナー及び着心地の良さを追求したリラックスインナーで引き続き売上を伸ばしたほか、お試し用のミニ商品の投入で新規顧客を獲得したコスメ商品、新たに投入した高価格帯のコートなどで売上を伸ばしたファッション商品などがご好評をいただいたことにより、ハルメク物販は売上が伸びました。一方、ことせ事業においては、前年下期に収益改善のために新規顧客獲得のための広告投資を絞った影響で、売上は減収となりましたが、後述のとおり黒字転換を実現できております。

前期において拡充を進めた店舗については当期も新店舗展開を進めており、当第3四半期連結累計期間にオープンした新店舗は、福屋広島駅前店（4月開設、広島）、伊勢丹立川店（8月開設、東京）、山形屋店（9月開設、鹿児島）及び遠鉄百貨店（9月開設、静岡）となります。

以上の結果、第3四半期連結累計期間の売上収益は、27,464百万円（前年同期比139百万円減、0.5%減）、営業利益は、2,022百万円（前年同期比767百万円増、61.1%増）、税引前四半期利益は、1,988百万円（前年同期比766百万円増、62.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、1,300百万円（前年同期比457百万円増、54.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上収益及びセグメント利益又は損失は社内の迅速な意思決定に資するため、会計処理の一部について、IFRSと異なる処理を採用しております。

<ハルメク事業>

当第3四半期連結累計期間においては、深い顧客理解に基づく読者に寄り添った誌面作りにより、雑誌「ハルメク」において想定どおりに読者数を確保したこと、2024年1月に雑誌「ハルメク」の購読料を値上げしたこと、新聞広告や店舗において新規顧客を順調に獲得したこと、及び機能面で優れた商品をライフスタイルとともに提案したことなどにより、情報コンテンツ及び物販において、売上を着実に伸ばすことができました。販売費及び一般管理費についても、2023年秋以降に悪化していた広告効率の改善が進み、大きく営業利益を伸長することができました。

以上の結果、売上収益は22,225百万円（前年同期比672百万円増、3.1%増）、セグメント利益は1,760百万円（前年同期比370百万円増、26.7%増）となりました。

<ことせ事業>

当第3四半期連結累計期間においては、前期において完売による売り逃しが多数発生してしまったことを受け、下期に収益改善のために新規顧客獲得のための広告投資を絞ったことにより、カタログ送付先が一時的に減少してしまった影響から売上は前期比減収となりましたが、今期からは新規顧客獲得に向けた広告投資を再開しております。また、広告投資を再開しつつも、収益性を考慮した運営を行った結果、黒字転換を実現できました。

以上の結果、売上収益は5,404百万円（前年同期比901百万円減、14.3%減）、セグメント利益は43百万円（前年同期比74百万円増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,983百万円増加し22,876百万円となりました。

流動資産は2,467百万円増加し、10,059百万円となりました。主な要因は、現金及び現金同等物の増加337百万円、営業債権の増加1,816百万円、棚卸資産の増加351百万円であります。

非流動資産は483百万円減少し、12,817百万円となりました。主な要因は使用権資産の減少405百万円、無形資産の減少152百万円であります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,048百万円増加し13,745百万円となりました。

流動負債は1,450百万円増加し、10,370百万円となりました。主な要因は、営業債務及びその他の債務の増加1,367百万円、未払法人所得税の増加293百万円、契約負債の減少220百万円であります。

非流動負債は401百万円減少し、3,375百万円となりました。主な要因は、リース負債の減少408百万円でありま

（資本）

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ934百万円増加し9,130百万円となりました。主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益1,300百万円の計上及び配当支払385百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当初予想時点から大きく乖離しないものと考えており、2025年5月15日に公表いたしました2025年3月期決算短信に記載の連結業績予想から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,394	2,731
営業債権	1,675	3,491
棚卸資産	3,198	3,550
未収法人所得税	2	—
その他の流動資産	320	285
流動資産合計	7,591	10,059
非流動資産		
有形固定資産	416	451
使用権資産	2,838	2,432
のれん	4,452	4,452
無形資産	5,048	4,895
繰延税金資産	208	208
その他の金融資産	315	328
その他の非流動資産	21	48
非流動資産合計	13,301	12,817
資産合計	20,893	22,876

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	1,900	1,900
営業債務及びその他の債務	2,677	4,044
契約負債	2,738	2,518
リース負債	577	580
未払法人所得税	204	497
その他の流動負債	821	828
流動負債合計	8,919	10,370
非流動負債		
リース負債	2,330	1,922
引当金	122	130
繰延税金負債	1,296	1,296
その他の金融負債	28	27
非流動負債合計	3,777	3,375
負債合計	12,697	13,745
資本		
資本金	2,082	2,092
資本剰余金	2,309	2,319
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	5	5
利益剰余金	3,797	4,713
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,195	9,130
資本合計	8,195	9,130
負債及び資本合計	20,893	22,876

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
	百万円	百万円
売上収益	27,603	27,464
売上原価	12,004	11,980
売上総利益	15,599	15,483
販売費及び一般管理費	14,101	13,483
その他の収益	8	28
その他の費用	249	6
営業利益	1,255	2,022
金融収益	0	2
金融費用	33	37
税引前四半期利益	1,221	1,988
法人所得税費用	378	687
四半期利益	843	1,300
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	843	1,300
四半期利益	843	1,300
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	77.23	118.13
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	76.09	116.58

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	843	1,300
四半期包括利益	843	1,300
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	843	1,300
四半期包括利益	843	1,300

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計	合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		利益 剰余金		
				新株予約権	合計			
2024年4月1日時点の残高	2,074	2,301	—	6	6	3,173	7,555	7,555
四半期利益	—	—	—	—	—	843	843	843
四半期包括利益合計	—	—	—	—	—	843	843	843
株式に基づく報酬取引	0	0	—	0	0	—	0	0
新株予約権の行使	3	3	—	△0	△0	—	6	6
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	△0	△0
所有者との取引額等合計	3	3	△0	△0	△0	—	7	7
2024年12月31日時点の残高	2,077	2,305	△0	6	6	4,017	8,405	8,405

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計	合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		利益 剰余金		
				新株予約権	合計			
2025年4月1日時点の残高	2,082	2,309	△0	5	5	3,797	8,195	8,195
四半期利益	—	—	—	—	—	1,300	1,300	1,300
四半期包括利益合計	—	—	—	—	—	1,300	1,300	1,300
株式に基づく報酬取引	1	1	—	—	—	—	3	3
新株予約権の行使	7	7	—	△0	△0	—	15	15
配当金	—	—	—	—	—	△385	△385	△385
所有者との取引額等合計	9	9	—	△0	△0	△385	△365	△365
2025年12月31日時点の残高	2,092	2,319	△0	5	5	4,713	9,130	9,130

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,221	1,988
減価償却費及び償却費	830	833
有形固定資産及び無形資産除却損	235	0
金融費用	33	37
営業債権の増減額 (△は増加)	△1,593	△1,869
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△275	△351
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,539	1,372
契約負債の増減額 (△は減少)	△63	△220
未払賞与の増減額 (△は減少)	△50	△92
その他	384	178
小計	2,262	1,877
利息及び配当金の受取額	0	2
利息及び優先配当金の支払額	△10	△15
法人所得税の還付額	39	3
法人所得税の支払額	△234	△395
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,056	1,473
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△136	△108
無形資産の取得による支出	△140	△179
その他	4	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△271	△327
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△23	—
株式の発行による収入	6	15
配当金の支払額	—	△385
リース負債の返済による支出	△442	△439
財務活動によるキャッシュ・フロー	△460	△808
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,325	337
現金及び現金同等物の期首残高	938	2,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,263	2,731

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは「ハルメク事業」及び「ことせ事業」の2つの事業を事業セグメント及び報告セグメントとしております。当社グループでは、これらの報告セグメントに属するサービスの全て又はその一部を行う単位で株式会社として組織化しており、各セグメントに属する組織の財務情報を集計することによって、各報告セグメントを評価しております。

各報告セグメントに属するサービスは下記のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品及びサービス
ハルメク事業	シニア女性向け雑誌「ハルメク」の出版・通信販売事業「ハルメク」・広告事業・イベント等の文化事業・新聞単品外販・店舗等
ことせ事業	シニア女性向け通信販売事業「ことせ」・広告事業等

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法

報告セグメントの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法について、連結財務諸表との主な調整の内容は以下のとおりです。なお、セグメント情報は、社内の迅速な意思決定に資するため、会計処理の一部について、IFRSと異なる処理を採用しております。

また、セグメント間収益は、市場価格を勘案し、価格交渉の上決定した取引価格に基づいております。

① 代理人取引の相殺消去

当社グループは、広告事業の一部として、法人顧客へ、広告取扱業者への取次を含めたコンサルティングサービスを提供しております。履行義務に代理人として関与する行為が含まれている場合には、その取扱金額は収益より控除されますが、セグメント収益の算定上、総額で記載しております。

② 収益認識時点の修正

当社グループは、通信販売事業を行っております。IFRSでは履行義務を充足した時点、すなわち、顧客に商品を引渡した時点で収益として認識されますが、セグメント収益の算定上、商品の出荷時点で収益として認識しております。

③ のれんの償却

IFRSでは、認識したのれんについて償却を行わず、年に一度又は減損の兆候が存在する場合にはその都度、減損テストを行うことを要求しておりますが、セグメント利益の算定にあたっては連結子会社が会社法上認識しているのれんについて、20年で償却した費用を計上しております。

④ 無形資産の償却

当社は企業結合により、無形資産として顧客関連資産等を認識しております。当該無形資産について見積耐用年数に従って償却が行われますが、セグメント利益の算定にあたっては償却費を計上しておりません。

⑤ 非金融資産の減損による影響

当社は企業結合の際に、ことせ事業セグメントの使用権資産及び無形資産について減損を行っており、IFRSでは当該減損した使用権資産及び無形資産に関連する減価償却費及び償却費が計上されておりません。セグメント利益の算定においては、これらの資産にかかる賃借費用及び償却費を計上しております。

⑥ その他調整額

その他には、上記以外の調整項目が含まれております。

(3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	ハルメク事業	ことせ事業	計		
売上収益					
外部収益	21,529	6,276	27,805	△202	27,603
セグメント間収益	23	29	53	△53	—
売上収益合計	21,552	6,306	27,859	△255	27,603
セグメント利益(△は損失)	1,389	△30	1,358	138	1,497

連結のセグメント利益は、連結損益計算書上の売上総利益から販売費及び一般管理費を除いた金額であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	ハルメク事業	ことせ事業	計		
売上収益					
外部収益	22,217	5,400	27,617	△153	27,464
セグメント間収益	8	4	12	△12	—
売上収益合計	22,225	5,404	27,630	△166	27,464
セグメント利益(△は損失)	1,760	43	1,804	196	2,000

連結のセグメント利益は、連結損益計算書上の売上総利益から販売費及び一般管理費を除いた金額であります。

(4) 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

① 売上収益

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
報告セグメント計	27,859	27,630
調整額		
セグメント間取引消去	△53	△12
①代理人取引の相殺消去	△67	△85
②収益認識時点の修正	△25	71
⑥その他調整額	△110	△139
調整額合計	△255	△166
売上収益	27,603	27,464

② セグメント利益から税引前利益への調整表

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
報告セグメント計	1,358	1,804
調整額		
②収益認識時点の修正	△11	48
③のれんの償却	301	301
④無形資産の償却	△217	△217
⑤非金融資産の減損による影響	9	6
⑥その他調整額	55	57
調整額合計	138	196
合計	1,497	2,000
その他の収益	8	28
その他の費用	249	6
営業利益	1,255	2,022
金融収益	0	2
金融費用	33	37
税引前四半期利益	1,221	1,988

(5) 製品及びサービスに関する情報

「(3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報」の中で同様の開示をしているため、記載を省略しております。

(6) 地域に関する情報及びセグメントごとの資産の金額に関する情報

当社グループにおける売上収益は全て本邦のものであり、また、当社グループの非流動資産は全て本邦にあることから、地域ごとの情報は省略しております。

(7) 主要な顧客に関する情報

単一の外部顧客との取引による売上収益が当社グループの売上収益の10%を超えるものはありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。